第39回（社）日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会栃木大会

10月19日(金)・20日(土)の両日に渡り栃木県宇都宮市において第39回（社）日本ＰＴＡ関東ブロック研究大会栃木大会が「育もう豊かな心と生きる力を支えようやさしさと夢のある子どもたちを」を大会スローガンとして開催されました。

初日の19日は8つの分科会でそれぞれの議題に対しての事例発表及び講演が行われました。

市川市Ｐ連からは■及び■が第1分科会（組織・運営）に参加してまいりました。

第1分科会では、「これからのＰＴＡ―望ましい組織・運営のあり方―」と題し、政策研究大学院副学長の今野雅裕先生より講演がありました。

今野先生は、ＰＴＡの役割として、学校を支え・充実させる役割、家庭での子育て・教育を充実させる働き、学校と地域社会とをつなぐ架け橋の役割があり、これらが重要になってきているがＰＴＡ活動はボランティアで現在の社会構造では、ＰＴＡとして活動を積極的に出来ない状況にある。ＰＴＡ活動がボランティア休暇として認知してもらえるような活動も重要な時期に来ていると話されました。

また、現在の日本の子どもたちの道徳観や正義感が国際的にとても低く、これからの教育課題のひとつであると提起されました。

講演される政策研究大学院副学長　今野雅裕先生

第１分科会　パネルディスカッション

事例発表としては、栃木県高根沢町立阿久津小学校ＰＴＡ会長から「子どもたちの豊かな成長のために、共に学び、共に行動する、ＰＴＡ活動」と題してＰＴＡ活動の事例を発表いただき、茨城県日立市小中学校ＰＴＡ連合会会長から「交流の村づくり！ｂｅｇｉｎ小さな動きで大きな交流！」～活き！活き！組織を若返らせよう～と題して日立市ＰＴＡ連合会は、全小中学校の単Ｐ会長と母親委員全員を連合会に参加してもらうという大胆な改革を行ったことについて発表いただきました。

二日目の20日には宇都宮市文化会館に於いて全体会が開催されました。

開会式として、実行委員長あいさつ、日Ｐ会長のあいさつ、来賓の祝辞などがあり、全体会では、分科会報告、大会宣言決議が行われました。

続いて行われた記念講演では「スクールウォーズ」のモデルとなった、伏見工業高校ラグビー部総監督の山口良治氏より「信は力なり」との演題で講演がありました。

福井県で生まれた山口氏は、中学生時代は野球部に所属し、3年生の頃にはキャプテンとして活躍。高校に進学されてからラグビーと出会い、持ち前の積極性とチャレンジ精神で次々と活躍の場を広げていかれたそうです。

高校生当時、一人の先生と出会い、「自分もこの先生のようになりたい」と日本体育大学へ進学。念願の教師になり、ラグビーの分野でも第一人者になられたそうです。

子どもの手本となり、子どもに目標とされる大人になることが大切と教えて下さいました。

（平田小　南行徳小　■）

全体大会の様子

第５５回千葉県ＰＴＡ研究大会（松戸大会）

11月17日（土）森のホール21において、第56回千葉県ＰＴＡ研究大会松戸大会が「心豊かな健康でたくましい子どもを育てるために」を大会スローガンとして開催されました。

全体会では、来賓の方々からのご挨拶に引き続き健全育成標語コンクール及び実践記録「我が家の家庭教育」コンクールの入賞者の表彰がありました。

記念講演では森田健作氏が「家庭力」―あなたの子どもは誰の子ですか？―」というテーマで講演がありました。

ご本人が大学受験に失敗し、浪人をしている時に受けた映画のオーデションに合格し、映画スターになったものの、その後売れない時期が続き自暴自棄になってしまった時に、ふと振り返ると悪い事は全て人のせいにしている自分に気づき、発想の転換をして、ライバルの応援やその時に備えトレーニングをした事がその後の成功に結びついた事から「努力は決して嘘をつかない」というお話を頂きました。また当時、ご両親からは、「人間は皆、必要があって生まれてきた」「お前にも必ず人が持っていない良いところがある」と言われ、自分はこの言葉で救われた経験に基づき、「個性を伸ばす教育」が必要であると熱弁を奮われていました。講演の最後には、「教育が全ての土台である」その最前線のＰＴＡの皆様には本当にがんばってもらいたいとエールも頂きました。森田氏の体験や経験に基づいた有意義なお話で、あっという間の講演でした。

分科会では６つの会場に分かれ、第３分科会「地域活動」についてパネルディスカッション形式で進められ、市川市の大柏小学校ＰＴＡ・篠崎教頭先生が提案者となり発表がありました。内容は、大柏小学校での地域との連携の図り方やコミュニティサポートについての説明で、地域の関心が高く、地域全体が学校教育に対して協力的であるとともに、学区の自治会や子ども会の組織がしっかりしていることから活動も盛んで、子ども達も地域の行事や活動に大勢参加していることから、今後も地域の活動を絶やすことなく、より充実したものにしていくためには、地域とＰＴＡとの連携が不可欠であると話されました。参加した市川市のＰＴＡの皆様からは活発な発言がありました。

（市川第二中　■）

講演される森田健作氏